



▲街を「イケメンキャラ」化したり、港湾風景も「ゆるキャラ」化



千葉みなとの様々な要素を体現したご当地キャラクターを作成

ターミナルも開業しました。自社で成長させていくメディアを作りたいと思いま  
い、散歩がてらに写真や不夕を集めら  
れるので始めました。最初は個人のブ  
ログのようなサイトでしたが、徐々に  
ポータルサイトとして誰もが無料でア  
カウント登録でき、写真やブログの投  
稿、お店の宣伝などができるWEBメ  
ディアに仕上がつていきました。

この「ちばみなど・jp」を開発し  
たノウハウで、このシステムを他社に

身近なところで  
キャラクターを開拓

最終的にはキャラクター会社になります。身近なところでキャラクターを作っていく仕事ができればと思っています。「ちばみなと・jp」を運営していますが、地域情報を扱うサイトはたくさんあります。「ちばみなと・jp」のコンセプト

WEBの時流はSNSを中心で、大きなブランド力のある会社ではユーチューバーは社名や店名を検索しますが、中企業はSNSでURLが貼られていて、そこから特定のページに着地するケースが多い。その点で、ホームページを始めてみたい時に、こだわったデザインに時間を割くよりも、まずは始めてみて、ユーチューバーの反応を見ながらチューニングしていく方が時流に合っています。うちの「ランポート」では、最短1営業日で公開できるWEBサイトを提供できます。

も提供する形で使つていただいているのが「プランポート」という商品です。ツイッター やインスタ 感覚でスマートフォンからでもサイト更新できる、会員機能も備えたWEBサイト構築・運用システムです。これを独自にゼロから作つて提供しています。

これからも「ゆるくて、ちょっと、ためになる」を信条に、まちや人に動きをつけていきたいと思っています。店や企業の方が「ちばみなと.jp」で生の声を出してくrente、何か新しい顧客やファンをつかんで、まちでも商売が回る。人、まち、官、民などがSNSの発展で、すでにごちゃや混ぜになつていますが、もつとごちゃや混ぜにして、まちに動きや活力をつけるきっかけになればいいと思います。

トとして、千葉みなとは観光地として紹介されることが多いですが、住宅地であるので、住民視点のコアな情報をお伝えする所で、千葉みなとをPRし、楽しみを生み出せたら、ご当地キャラクターを企画して作っています。2016年にモノレールやポートパークなど千葉みなとの要素を全身にまとった「萌えキャラ」タイプとして「チバミナコちゃん」を作り、18年には工業港湾風景を「ゆるキャラ」化しました。この春からは千葉みなと駅周辺地区6つの街を擬人化して「乙女ゲーム」タイプのキャラを作りました。等身大パネルやグッズなどを製作しています。キャラクターとWEB、地域を絡めて何かをしていきた

会社は2016年4月に設立しました。ホームページにも掲げている企業理念は「ゆるくて ちょっと ために なる」です。ITやWEBのシステムはどんどん新しいサービスが生まれて いますが、あまりITに触れていない人や高齢者などは難しいと思つてしま いがちです。敷居を取り除いて取つきは緩いけれど、実際に使ってみると、 ためになる新しいサービスやシステム、仕事を提供したいという理念を掲げて

もともとは東京で、ソーシャルゲムやエンタメ系のモバイルコンテンツを作るような会社に勤めていました。7年ぐらい前からは千葉県内で地域のクーポン誌などを出していた会社に転職し、WEB担当として県内企業のWEBシステムを企画提案して開発の取り仕切りをしていました。

3年ぐらい、そこに勤めました。いま41歳ですが、40歳を迎える前に自分のやりたいことを直接できる、自分の会社を作つてみたと起業しました。転職して、千葉のいろいろな企業から話を聞く機会が多く、ITやWEBに関することを自分でやってみたかったのです。そこで設立することをできればと始めました。



# 汗の輝き

「ゆるくて、ちょっと、ためになる」を信条に  
人やまちに動きや活力を生む  
きっかけを作りたい

WEBシステムやキャラクターの企画開発、千葉みなとを中心に地域ポータルサイトを運用する株式会社せひらの代表取締役、平澤誠治さんにお話を伺いました。



#### ▲株式会社せひら 事業内容